第30回公民館まつり

2011.3.4(Fri)-3.6(Sun)
The 30th Community Center Festival

公民館まつりは、公民館で生涯学習に取り組む人たちの祭典として、１年間の成果を発表・展示するものです。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

●**期間**　３月４日(金)～６日(日)
●**場所**　中央公民館（入場無料）
●**主催**　教育委員会・中央公民館
問中央公民館　☎26-2453・22-1343

※サイエンスショーと文化講演会の入場には、整理券が必要です。整理券を中央公民館、各地区公民館、あしたば白石、図書館、市民課などで２月初旬から配布します。

らんま先生の実験！ eco サイエンスショー

オリジナルの教材を使いながら、「環境」をテーマに皆さんと一緒に実験をします。

●**日時**　３月５日(土)
10:00～11:30
●**場所**　大ホール

文化講演会 「であい　ふれあい　ひびきあい」

～のど自慢12年の旅から～

●講師　元NHKアナウンサー
宮川（みやがわ）　泰夫（やすお）さん
●日時　３月５日(土)
14:00～15:30
●場所　大ホール

スポーツ＆レクリエーション【参加無料】

３月４日(金)　13:00～15:00　大ホール

①体力測定－からだ年齢いくつかな？－
②ニュースポーツ体験（シャフルボード、囲碁ボールほか）
●**持参する物**　運動靴（服装は軽装で）
※参加を希望される方は、直接、会場にお越しください。

展示の部

展示期間　３月４日(金)13:00～17:00
３月５日(土)　9:00～17:00
３月６日(日)　9:00～16:00

場　所	展示内容（参加団体）
図書室	川柳（白柳会）、俳句（蔵王俳句会）、陶芸（東北クラブ）
調理実習室（６日のみ）	試食提供（ヘルスメイト白石）
事務室前ロビー	絵画（白美会）、お菓子など（白石友の会）
大ホールロビー	パネル展示（白石ユネスコ協会、白石しらゆり会、白峰会）、催し（ジュニアリーダーキャロル）、即売（やまぶき会、白石うぐいす会）
視聴覚室	陶芸（木釉会、陶好和会、陶芸講座、陶人会）、押し花（押し花教室花あそび）、草木染（サークル四季彩、草木染愛好会）
第２研修室	手芸（白石ボランティア友の会、パンフラワー教室、パッチ布レンド）、革手工芸（白石地域婦人会レザークラフト）
講座室	書道（秀篁会、白友会、白城会、白石うぐいす会）、毛筆細字（毛筆細字講座）、墨絵（墨絵サークル）、俳画（中央俳画サークル）

発表の部

３月６日(日)9:30～16:00　大ホール

発表内容	参加団体
コーラス	コールリバー、童謡講座
舞踊	宝梅会、白石市地域婦人会、舞の会、清蘭会
歌・民謡・尺八	藤坂歌謡倶楽部、歌謡研究倶楽部、文化歌謡教室、スワン郷の会、みちのく歌謡会、東北郷土民謡青謡会、宮城竹友会白石支会
琴・詩吟	琴名流大正琴白石教室、さくら会、宮城岳風会
エアロビクス	キッズジュニアエアロビックサークル
体操	３Ｂ体操愛好会、３Ｂ体操夜間サークル
バレエ	本田・佐藤モダンバレエ研究所
ダンス・ギター	グリーンローズフラの会、ラブリーフラ、かのん
手話ソング・ダンスなど	白石市地域婦人会、白石しらゆり会、ちゃれんじど

販売の部

開催期間　３月４日(金)～６日(日)

場　所	内　容
視聴覚室	陶芸・押し花の即売　５日(土)10:00～
第２研修室	レザー・パッチワーク・パンフラワー作品の即売
事務室前ロビー	ケーキ・お菓子・手芸品などの販売
大ホール前ロビー	なつかしの駄菓子などの販売

※６日(日)9:00～13:00のみ、おにぎり（お茶付き）を即売します。
※販売の収益金は、福祉団体などへ寄付します。昨年は、収益金50,000円を白石うぐいす会に寄付しました。

次期選挙から　投票日当日の投票時間が変わります

午前７時 から　午後７時 まで

（福岡第２・第６・第７・第８・第10、小原第１・第６投票所は午後５時まで）

次期選挙から、投票日当日の投票終了時刻が１時間繰り上がり、午後７時までとなります（上記投票所は午後５時まで）。お間違えのないようにご注意ください。

なお、期日前投票は、従来通り午前８時30分から午後８時までです。仕事や旅行などのため投票日当日に投票できない方はご利用ください。

●**宮城県議会議員選挙期日前投票**
期間：４月２日(土)～９日(土)
時間：午前８時30分～午後８時
場所：市役所２階第２会議室

●**白石市議会議員選挙期日前投票**
期間：４月18日(月)～23日(土)
時間：午前８時30分～午後８時
場所：市役所２階第２会議室

宮城県議会議員選挙
告示日　４月１日(金)
投票日　４月10日(日)

白石市議会議員選挙
告示日　４月17日(日)
投票日　４月24日(日)

問い合わせ先
選挙管理委員会事務局
☎22－1315

Special Interview

▲スパッシュランドで学生を指導する鈴木大地さん

今から22年前、日本中を感動の渦に巻き込んだ鈴木大地さん。その鈴木さんが監督を務める順天堂大学水泳部が昨年12月20日から28日までの９日間、スパッシュランドしろいしで合宿を行いました。鈴木さんは22日の夜に着き、23日の午後に帰省するという多忙の中での来白。貴重な時間を割いていただき、「夢」をテーマに話を伺うことができました。

心が育ってこそ、体が育つ――そして、「夢」が一番の力になる――

Daichi Suzuki

鈴木　大地さん

―夢をつかむために必要なこと

僕は小さいころ体が弱くて、体を強くするために水泳を始めました。泳げないのに入会の目的に「オリンピック選手になりたい」と書いて、非現実的だとばかにされましたけどね。当時は、オリンピックでメダルを取れるとは思っていなかったですよ。

僕は水泳に向いていたのかなとは思いますけど、ある程度適性があってとことん毎日やれば、そこそこはいきますよね。ただ、オリンピックとなると「死ぬ気でやらないと行けないよ」と学生には言っています。そんなに甘いもんじゃないですよ。僕は、一生に一度こんなにつらいことはないって思いながら練習していました。朝起きて、「今日も生きてるな」と思うくらいね。それは、本番が怖いから。恐怖を除去するために、自信を付けるために練習するんです。練習したことに対しては自信があるんですよ。

教育者としては、「やれば何でもできる」と言いたいですけど、昔と比べスポーツが細分化・専門化されてきているので、ある程度子どもの適性を見極めてあげることも必要だと思うんですよね。誰にでも才能はあると思いますが、それが何かを見つけること、何に努力するかっていうことが大事になってきた気もします。

―指導者として

指導は難しいです。辛抱と忍耐です。もどかしい部分もたくさんありますよ。いかに選手の心に火を付けるか。人からやらされる力には限りがあって、「自分でやるぞ」というシチュエーションを作ることが重要です。

心を育てなきゃいけないんですよね、体を育てる仕事なんですけど。心が育たないと結果的に体が育たない。学生が頑張れるネタがないかなと、いつも探しています。そして、教わる方も素直な気持ちがないと頑張れないんですよね。そういう「心」を育てていかないと、結果的に伸びていかないんだと思います。僕も日々勉強です。

―子どもたちへ

子どもが見る「夢」というのは、世の中で一番大事なことじゃないかと思います。「オリンピックに出たい」「プロ野球選手になりたい」。そうした夢が一番の力になります。いつまでも夢は見ていい。そして、それを周りが応援してあげる。そうすれば、やりたいって思ったものになれますよ。強い思いは「念」になり、願いがかなう。本人の情熱と周りの応援。それがあれば、子どもは本気になってやると思います。

―取材を終えて

インタビューの中で鈴木さんは、「ここは良い施設。温泉も近いので、周りと協力していけばいろいろな使い方ができるのではないでしょうか」と話してくれました。「こうなりたい」という明確なビジョンが、人も施設も成長するために重要なのかもしれません。

そして、スポーツに限らず人生には「情熱」が大切であること。「情熱」を持ってこそ無限の可能性が生まれるということを、あらためて感じました。

― profile ―

すずき　だいち：1967（昭和42）年生まれ。近所にスイミングスクールができたことがきっかけで、７歳から水泳を始める。高校時代から背泳を専門にし、1988（昭和63）年ソウルオリンピック100メートル背泳金メダル。現在、母校である順天堂大学の准教授としてスポーツ医科学の研究に取り組みながら、同大水泳部監督、日本オリンピック委員会委員、日本水泳連盟理事などを務める。また、青少年の育成として千葉県習志野市の教育委員も務める。